

歴史を知り、文化遺伝子の継承を

テキスタイル塾講師

紳士服担当 渡邊 忠司

「今、伝えておかないと、次の代へ伝わらない」

先人のいくつかの教えや思いを伝える役になった今、以前に尾州フォーラムで討議されたことが色々と実行されていることに感慨を覚えます。

世界的な展示会への参加、人を育てる勉強会や結果を発表する場の開設、ジャパンテキスタイルコンテストの開催、情報の公開と共有、ユーロ・テキスタイル・プロジェクトの結成、産地間交流などが進んでいます。

「生産基盤の無いところに、物作りの文化は育たない」と言います。私は「創造力、技術力を育む」テキスタイル塾において、今迄培ってきた経験やノウハウを伝える機会を得た事に、大きな喜びを感じております。

与えられたカリキュラムは紳士服、スーツ、カジュアル企画、設計、クオリティ、裨見本の作り方です。

まずプランナー、デザイナー、販売担当者の自己訓練について話をしました。重要なことは以下のことです。

この仕事が好きで意思と意欲が頑固なこと、広い視野を持ち新しいものに常に興味を持つこと、物づくりに喜びを感じ時代の気分や言葉をモノにできること、情報を集めリサーチし自分流にして発信することです。

さらには予想力（博才）をつけて変化の予測や将来像を描く努力、方向性組み立てを常に研究し「ひらめき」仮説することです。加えて決断し、くり返して自信をつけ、瞬間的判断力をつけ「まめまめしく努力をする」ことです。

先が見えない、売れるものが分からない時

代、展示会やセミナーに参加して、ヒントやアイデアを膨らませましょう。拡大、縮小、変化、反対、組み合わせ、などさまざまな角度から考えることが大切です。

当地は尾張もめん縞、美濃もめん縞の伝統産地です。何回かの変化の時代を、先人達は智恵と努力で切り開き、発展してきました。これを今風に生かすため、歴史を知り、文化遺伝子の継承につないでいくために、個々が自助自立の精神をつけるべきです。

作業方法は、利益を得るために常に考えることが必要です。加算方式か、逆算方式か、プレゼンテーション（説得力、表現力）は社会背景、時代の傾向分析、素材、カラーの分析、クリエイティブの実行、ネーミング、何が新しいのか、作り手の考え方、表現の苦勞、市場に合わせるタイミングなどを上手に伝え、売りにつなげることが大切です。

私の知る先人の言葉を紹介します。

「一歩先を、次を見る、物事の反面解釈」

（先代今信毛織社長）、「企画は感性のあるモノを完成品に、他人をビックリさせる事をせよ、営業は人をいかに悦ばせる術を持て、常に前傾姿勢、前斜姿勢で行く」（先代山長社長）

常に相手を儲けさせることが肝要です。「儲」とは信者（ブランド）をつくり、裨から現反まで自分流を通すこと。今信、長大、野村の先代社長は、製品の織付けから仕上品まで自分の手と目でチェックして市場に出されていきました。勤勉努力の精神の大切さ、品物に魂を入れることの重要性、錬金術を習得してもしようがありません。尾州の発展を願って企画書や設計書を作っていきます。